

姫路市立高等学校における「教育の情報化」と「1人1台端末の購入(BYAD※1)」について

文部科学省から発表された「GIGAスクール構想※2」の実現に向け、姫路市では市立高等学校に無線LAN・大型電子黒板・学習者用端末を整備し、全生徒・保護者にGoogleアカウントを配付するなど、ICT環境の整備と教育の情報化をすすめています。

さらに、新学習指導要領が実施される令和4年度入学生より、端末(タブレットやパソコンなど)を各自で購入し、個別最適な学びや協働的な学びの実現を目指すことになりました。保護者の皆様におかれましても、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

つきましては、姫路市立高等学校における「教育の情報化」の取組と「1人1台端末の購入(BYAD)」に関する情報を提供いたします。



市立高校だより

市立高等学校の「教育の情報化」の取組

姫路高校



「グローバルイシューズ」(世界が抱える諸問題を英語で読み聞き、ディスカッションを行いながら、国際感覚を磨くと同時に英語運用能力の育成を図る科目)の授業です。各班で1つのテーマについて分析し、発表しています。その発表を聞き、Googleフォームからアンケートに答えています。

琴丘高校



2年7組(国際文化科)の生徒と台北市立萬芳高級中學(台湾)の生徒とのオンライン交流授業です。各自、質問事項を考え会話学習を進めました。画面越しにライブで相手と1対1で対面し、会話することができました。今後も継続予定です!

飾磨高校



数学の授業では、Chromebookに二次関数のグラフをタッチ入力やキーボード入力を用いて描画しています。数値を変えるとグラフの形が変化し、視覚的に理解することができます。また、教室の大型電子黒板で容易に共有することができ、クラス全体で学びを深めています。

市立高等学校の「1人1台端末の購入(BYAD)」に関する情報[今後、変更の可能性あり]

- 購入する端末は「Chromebook」(機種未定)です。
◆子供たちが高校進学後もシームレスに同様の学習環境で学べるよう、義務教育段階の1人1台端末環境で活用してきた「Chromebook」を購入してもらいます。
- 端末の購入金額は辞書アプリ込みで約50,000円(税込み)の予定です。
- 経済的理由で端末の購入が困難な場合は、姫路市教育委員会で貸出用の端末を整備し、各学校から貸与する予定です。
- 姫路市教育委員会が発行するGoogleアカウント(@g.himeji-hyg.ed.jp)を使用します。
◆姫路市立中学校の卒業生はGoogleアカウント・Gmail・Googleドライブ等が継続利用できます。(その他の生徒にはGoogleアカウントを新規発行します。)
- 購入した端末を安全・安心な環境で使用できるよう、姫路市教育委員会がフィルタリングと端末管理の設定をします。(高等学校を卒業する時に設定を解除します。)
◆家庭で使用する場合でも学校での使用と同様にフィルタリングがかかります。

市立高等学校で一緒に勉強しよう!



※1「BYAD」 Bring Your Assigned Deviceの略。教育委員会や学校が購入機種を指定し、個人が私費で購入した端末を持ち込み活用すること。

※2「GIGAスクール構想」 https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm (文部科学省)